

認定こども園化ニュース 第24号

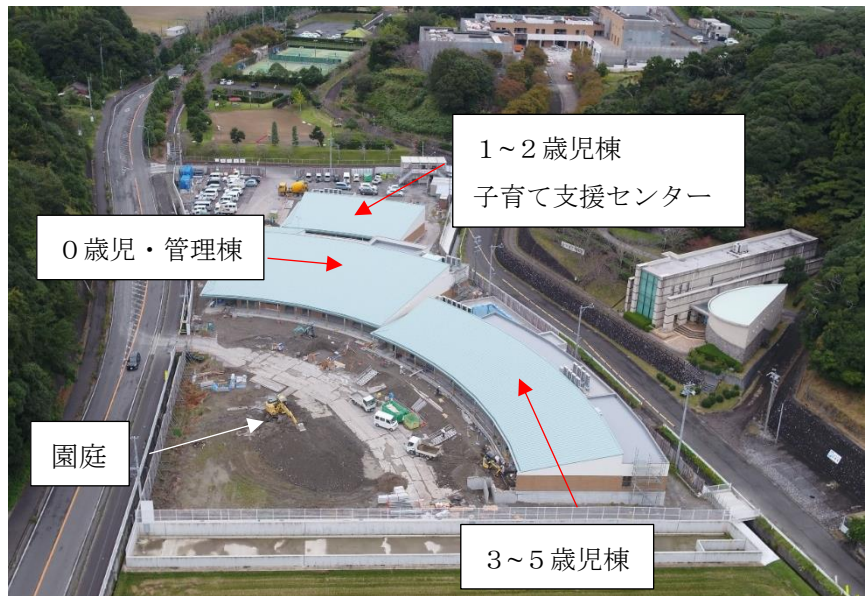
～大東大須賀区域認定こども園化の進ちょく状況をお知らせします～

■きとうこども園建設工事が順調に進んでいます



11月末現在で建物本体工事の87%が完了し、当初の計画を上回る進ちょく率で順調に工事が進んでいます。今後、内装工事や駐車場等の外構工事も本格的に進めていくようになります。

掛川市ステンドグラス美術館名誉館長の鈴木政昭様から寄贈されたステンドグラスは、玄関ホールに設置されます。また、小学生から一般に募集したきとうこども園シンボルデザインもこども園西側の県道沿いの壁に設置されます。



南西側から見る建設現場

■きとうこども園の園マークができました



園マーク

上の写真のように、きとうこども園の園舎は弓なりになって虹をイメージしています。園マークは、七色の虹をメインにして、元気いっぱいの子どもたちを表現しました。

二つの山は高天神山と楞巖寺山(りょうごんじさん)で、高天神山は、鶴翁山(かくおうざん)とも呼ばれており、鶴をあしらっています。笑顔の太陽はきとうの子どもです。太陽から出る緑青赤橙の4つの光は、前身である城東保育園・土方幼稚園・佐東幼稚園・中幼稚園の4園をあらわすとともに、報徳の教えである「至誠・勤労・分度・推譲」をあらわしています。太陽の光が虹を作り出します。

中央下には、大東福祉会の花であるスイセンを飾りました。きとうらしさのある素晴らしい園を目指していくよう、園マークに願いを込めました。

デザイン：鳥居千尋(城東保育園職員) 文：浅井正人(大東福祉会顧問)

※「きとうこども園 園マークの制定」より抜粋

■合同保育で交流を深めています



土方・中幼稚園、佐東幼稚園、城東保育園では、令和5年4月の開園に向けて4園合同保育を実施し、園児同士の交流を深めています。

10月24日には、城東保育園にて、4歳児が各園の運動会で踊った遊戯をみんなで一緒に踊ったり、しっぽとりをしたりして外でいっぱい遊びました。たくさん遊んだあとは、手遊びとペープサート（紙人形劇）を楽しみました。



遊戯を楽しんでいる様子



手遊び・ペープサートの様子

11月14日には、北運動場にて、5歳児向けのふれあい会を実施しました。城東中学校の先生に縄跳びの指導を受け、どれだけたくさん跳ぶことができるか挑戦しました。また、リレー対決では、小学校区別にチームを分け、各チーム協力して一生懸命頑張りました。



縄跳びを頑張る様子



リレー前の円陣の様子

★掛川市では皆さまからの御意見を基に、地域の理解を得ながら認定こども園化を推進していきます。

掛川市子ども政策課 TEL : 0537-21-1211 email : kodomosei saku@city.kakegawa.shizuoka.jp
(社福)大東福祉会(本部) TEL : 0537-63-2314
(社福)大須賀苑(本部) TEL : 0537-48-5365